

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 高山陣屋御蔵屋根葺替・蔵番長屋耐震補強設計事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部高山陣屋管理事務所 管理調整係

電話番号：0577-32-0643

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 70,093 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	70,093	0	0	70,093	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

御蔵については、石置長檼葺で屋根を葺いており、屋根材は長檼板を使用している。この長檼板は、向きと表裏を5年に一度板返しをしながら20年で使い切るというものである。ただ、場所によって劣化の差が生じるため、板返しのたびに全体の1/4程度入れ替えを行っている。

蔵番長屋については、来年度耐震補強工事を計画しているため設計委託を行う。

### (2) 事業内容

- ・御蔵屋根葺替用檼板購入
- ・蔵番長屋耐震補強設計費

(3) 県負担・補助率の考え方  
県費

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
原材料費	69,873	御蔵屋根葺替用樽板購入
委託料	220	蔵番長屋耐震補強設計費
合計	70,093	

### 決定額の考え方

### 4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ  
高山陣屋跡保存修理計画

(2) 後年度の財政負担  
計画的に保存修理を実施していくため、財政負担必要

(3) 事業主体及びその妥当性  
岐阜県が事業主体となり、高山陣屋跡保存修理を適切に実施し、施設を広く公開する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

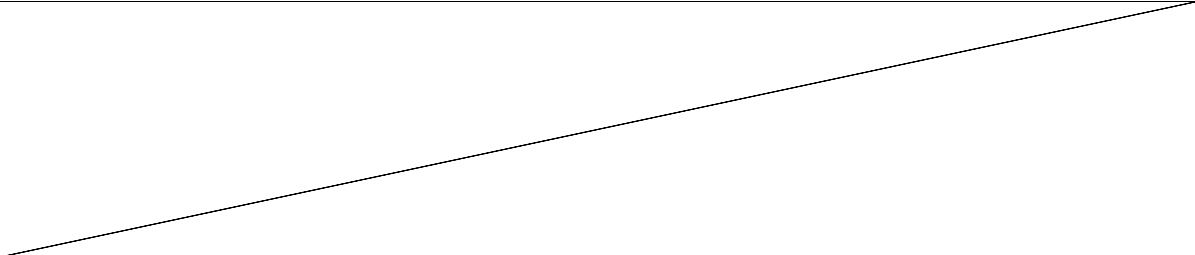
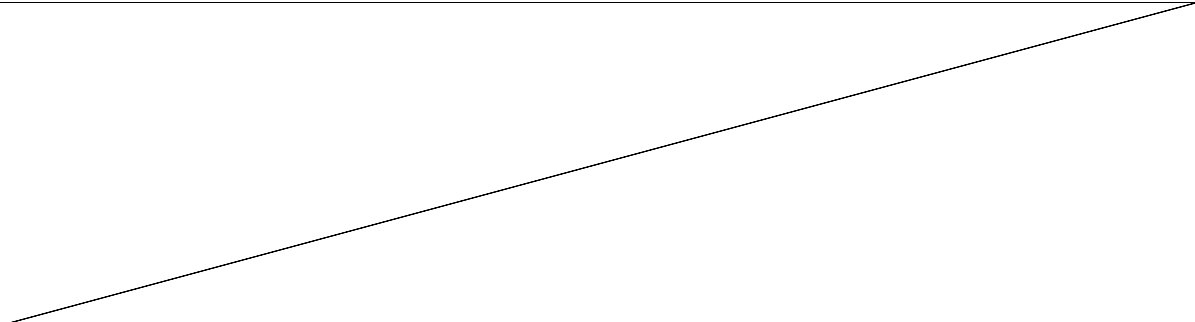
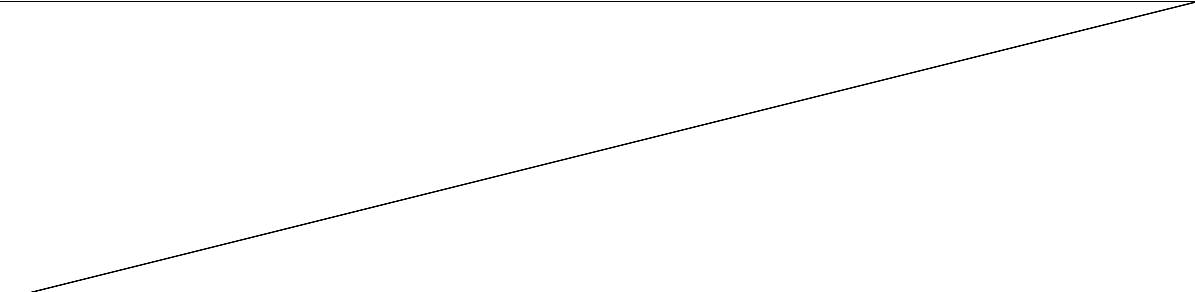
全国唯一、徳川幕府の代官所跡が現存する国史跡高山陣屋跡の保存修理を適切に行い、広く公開します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R )	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標	達成率
①高山陣屋修繕 計画（事業費）	—					100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 指標① 目標：0円 実績：0円 達成率：
令和5年度	 指標① 目標：0円 実績：0円 達成率：
令和6年度	 指標① 目標：0円 実績：0円 達成率：

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存していくために、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存し、351千人(令和6年度)の入場者に公開することができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	専門家会議で助言や指導を受けながら保存修理を行い、効率的に事業を実施している。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設を適切に維持保存し広く公開していくために、専門家会議や文化庁の指導を受けながら事業を進めたい。
--

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 年間351千人(令和6年度)の入場者がある国史跡高山陣屋跡を、県民の誇りとして維持保存し広く公開するために、適切に事業を行っていく。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------